

学校教育目標「自ら進んで学び、社会性と高い志を持った生徒の育成」

緑中合言葉「素直さ 明るさ 逞しさ」



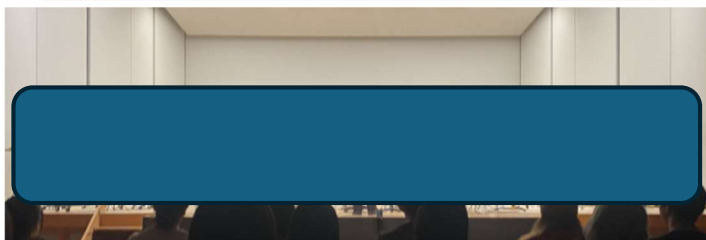
令和8年10月19日 第7号

文責 長崎市立緑が丘中学校

校長 森田 将史

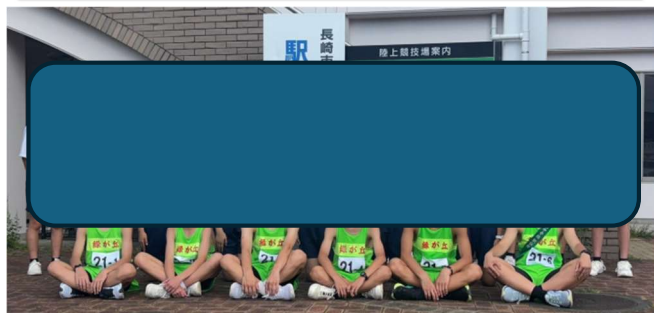
スポーツの秋、文化の秋、食欲の秋、実り多き秋です。行事が盛り沢山の2学期です。多くの行事を経て学級や学年、そしてチームとしての絆を深め、さらなる成長を遂げています。

第49回緑が丘中吹奏楽部定期演奏会



9月12日(土)、チトセピアホールにて開催されました。当日はご来賓や地域の方々、そして応援する生徒も多く訪れ、3部構成された演奏に酔いしれました。学校や地域での行事のたびに素晴らしい演奏を奏でてくれた吹奏楽部の皆さんの熱い思いを感じました。そして3年生6人にとってはこの日が集大成となり、これまで積み重ねてきた更に熱い思いを感じました。喜びも悔しさも分け合ってきた仲間と奏でる音は、節目となるこの日が最後でした。支えてくださったすべてのの方々への感謝を一言一言に込め、魂を揺さぶる最高の演奏でした。

令和8年度長崎市中総体駅伝大会



男女合わせて24人の有志が集い、緑が丘中の代表として、10月1日(木)にかきどまりコースを堂々と走りぬきました。

2学期ははじめから練習を開始し、限られた時間の中で自分を限界まで追い込む姿は全校に元気と勇気と情熱を与えてくれました。目標としていた結果には届きませんでしたが、「やりきった!」「苦しさを乗り越えた!」という経験は何よりも貴重で、大切な経験となり、選手たちは一回りも二回りも成長を遂げました。やり切った3年生、どうか、これから始まる進路を自らの手で力強く切り拓いてください。そして下級生、今回の経験を活かし、学校の中心となって周りを引っ張る存在になってください。

令和8年度校内合唱コンクール



9月19日(土)、例年、7月の命を見つめる教育週間に実施していた土曜授業ですが、今年は、本校が誇る合唱コンクールをより多くの皆様にご覧いただきたいという強い思いから、休日開催となりました。限られた時間の中で、学級が心を一つにし、様々なドラマを経て一つの合唱という作品を作り上げました。2学期が始まり、とりかかりのスピードや熱量の違いなど、クラスごとに様々でした。実行委員やリーダー達の必死の呼びかけ、担任からの愛のある、時には厳しい指導、仲間同士の衝突もありました。そうした幾多のドラマを乗り越えて、全クラスとも素晴らしい合唱を披露することができました。3年生にとっては下級生に負けられないプレッシャーがありました。それを見事にはねのけ、素晴らしい合唱を披露しました。結果として賞はつきましたが、各学級・学年、そして学校全体で目標に向かって取り組んだ姿勢、この気持ちこそが大きな財産です。賞の有無に関わらず、緑が丘中学校として大きな前進でした。

第76回長崎市中中学校連合音楽会



10月16日(金)にブリックホールで開催され、本校からは吹奏楽部合奏と3年全員合唱を発表しました。こ

のような舞台上で歌ったり演奏したりすることは人生の中でも限られています。その大舞台で練習の成果をいかんなく発揮しました。吹奏楽部の合奏は会場の手拍子も相まって最高の盛り上がりを見せました。3年生の合唱は100人を超える声量が会場に響き、大きな称賛を得ていました。

